

0.1 テータ関数の変換公式 (宮崎直) 60分

メタプレクティック群上のテータ関数を双対簡約ペア $G_1 \times G_2$ の被覆群に制限したものが, テータリフトにおいて中心的な役割を果たす. この講演ではテータリフトの準備として, 実メタプレクティック群の Weil 表現からテータ関数の変換公式 (一般化された Poisson 和公式) が導出される過程について説明する. また, 新谷卓郎氏によるテータ関数を $O(p, q) \times SL(2, \mathbf{R})$ の被覆群に制限した場合についての具体的な計算を紹介する.

参考文献

- [1] Takuro Shintani. On construction of holomorphic cusp forms of half integral weight. *Nagoya Math. J.*, Vol. 58, pp. 83–126, 1975.
- [2] 高瀬幸一. Weil 表現と古典的 Theta 級数. 第4回整数論サマースクール報告集, pp. 44–62, 1996.